

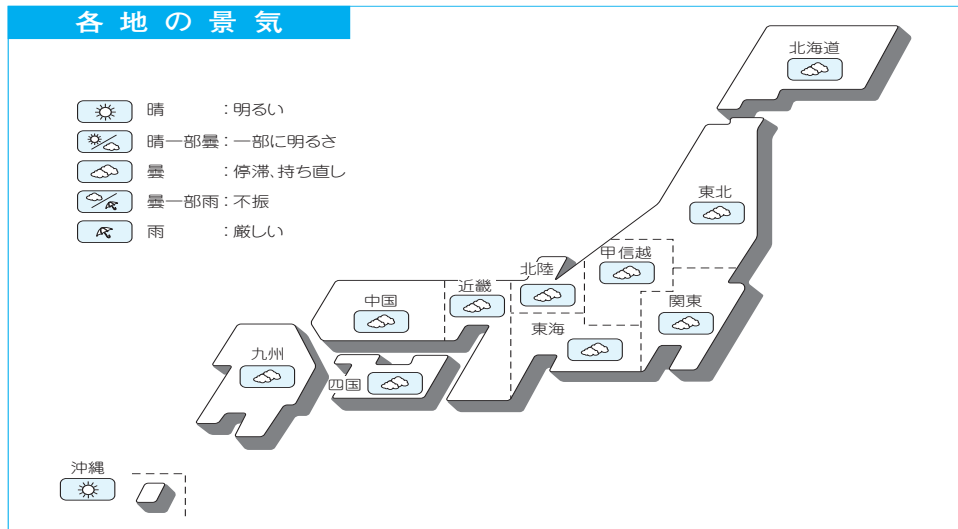
全国地方銀行協会



地方経済天気図

(平成26年11月発表分) から

消費関連の回復もたつきから、足踏み感

1. 各地の景況感



-  **東海、中国**…個人消費は、乗用車販売の減少に加え、大型小売店販売も盛り上がりを欠くなど、総じて弱含み。生産は輸送機械が減産。
- 東北、関東、北陸**…住宅建築は着工件数が減少し、低調。設備投資は、需要動向の先行き不透明感もあり、持ち直しの動きがここにきて一服。
- 甲信越、近畿、九州**…輸出は、アジア向けの輸送機械、建築機械を中心に増加。公共工事は横這い圏内の動き。
- 北海道、四国**…観光は、円安を背景に外国人客が増加し、上向き。生産は電気機械が減産。
-  **沖縄**…公共工事が増加したほか、観光も好調。

2. 近県「現在の景況」

「宮城県」

全体として景気は、一部に弱い動きがみられるものの、震災復興需要などに伴い経済活動は総じて高水準で推移しており、基調としては緩やかに回復している。

「山形県」

消費税率引き上げの影響などにより、一部に弱い動きもみられ、総じてみれば横這いとなっている。

「新潟県」

一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。

「栃木県」

緩やかな回復に一服感がみられている。

「茨城県」

県内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、基調的には持ち直している。

3. トピックス（東北・近県）

「青森県」

郡山市で開催されたご当地グルメによるまちおこしの祭典、「第9回全国B-1グランプリ」で、十和田市の「十和田バラ焼きゼミナール」が1位のゴールドグランプリを初受賞した。次回の第10回大会は来年秋に十和田市で開催されることが決定しており、十和田の大会に向け弾みが付いた形となった。

「岩手県」

いわて花巻空港は開港50周年を迎えた。今年4～6月に、国際定期便の運航に向けた取組みとして、台湾との間で初の定期チャーター便が運航され（19往復38便）、利用者数が4,697人、利用率が82.6%と大きな成果を上げた。この成功を受けて10月から秋季定期チャーター便の運航が始まり、来年1～2月には冬季チャーター便の運航が計画されている。冬季の運航で実績を確保できれば国際定期便化の実現に近づくことになる。岩手経済研究所では台湾定期便の経済波及効果を算出し、春季便の経済波及効果を6,200万円と試算。同様に通年で台湾との国際定期便化が実現した場合の経済波及効果は3億7,300万円と試算している。

「秋田県」

10月8日、秋田県は秋田港と能代港の港湾区域内で洋上風力発電を行う事業者の公募受付について、12月17～19日に実施することを事前告知した。正式な公募を11月中旬の国の審議会による港湾計画の変更承認後に開始し、有識者や港湾関係者等による評価委員会の審査を経て、来年2月下旬に事業者を決定する方針。対象区域は秋田港の5か所（合計351.4ha）と能代港の3か所（同378ha）で、両港を一括して事業者を選定する。

「宮城県」

県と仙台市など県内17市町は、復興庁に対し第10次復興交付金を申請した。申請総額は1,588億4,610万円となり、事業別にみると、道路事業が約396億円、防災集団移転促進事業が約357億円、下水道事業が約319億円などとなっている。また、市町別では、石巻市が約589億円、気仙沼市が約193億円、東松島市が約159億円などとなっている。

「山形県」

山形銀行が行った「第41回消費動向調査」（2014年9月実施、有効回答1,211名）によると、暮らし向きDI（「前年と比べて暮らし向きが良くなった」・「やや良くなった」とする割合－「悪くなった」・「やや悪くなった」とする割合）は、前年比4.3ポイント低下の△26.8となり、2年ぶりに悪化。

「栃木県」

栃木県では、4～7日に60歳以上のスポーツ・文化の祭典、第27回全国健康福祉祭とちぎ大会「ねりんピック栃木2014」（主催：厚生労働省、栃木県、一般財団法人長寿社会開発センター）が開催された。4日間で観客を含む総動員数は約41万人にもものぼった。

「茨城県」

JR常磐線、宇都宮線、高崎線が現在の終点の上野駅から東京駅まで乗り入れる「上野東京ライン」の開業が2015年3月14日に決定した。常磐線の朝の通勤時間帯の東京駅（→品川駅）乗入れ本数は取手駅発の快速列車5本となり、中距離電車利用者には期待外れとなった。特急電車は品川駅発着が基本となり、ビジネス面や観光客誘致には利点が生まれそうである。

（出所：全国地方銀行協会地方経済天気図11月分より抜粋）

（担当：斎藤）